

第24回災害対策本部会議

日時	令和元年11月21日(月) 13:30
場所	市役所本庁舎2階 特別会議室
出席者	市長、吉崎副市長、菅野副市長、各特別職、各部局長、国土交通省東北地方整備局、福島県、陸上自衛隊、郡山警察署、郡山北警察署、消防本部、郡山市消防団、郡山医師会、郡山市社会福祉協議会

【部局長報告】

○保健福祉部長

- ・避難所状況は、11月21日現在の避難者カードでは11箇所、145世帯、303人であり、うち避難所宿泊者は114世帯、199人である。
- ・11/21から11/24まで高瀬小学校から高瀬地域公民館への移行を行っており、今後、芳賀小学校から芳賀地域公民館への移行も予定している。
- ・「住まいに関する要望調査」実施中である。

○生活環境部長

- ・被災家屋等の解体、撤去について、生活環境の保全と市民生活の安全・安心の確保を図るため、全壊、大規模半壊、半壊の判定を受けた所有者からの申込みに基づき、実施していく。
- ・京都市(全国都市清掃会議)、11月22日(金)をもって応援は終了する。感謝申し上げます。

○税務部長

- ・り災証明発行件数は11/20現在で4,051件である。
- ・現在、浸水区域外で内水被害があった箇所などで調査未完了の場所を調査中である。

○保健所長

- ・医師による避難所における健康チェックについて、郡山医師会 JMAT チームと市の保健師とで行っている。

【リエゾン等】

○郡山警察署

- ・被災家屋を対象に窃盗事件が発生していることから警戒活動を行い、未然防止に努めている。

○郡山北警察署

- ・引き続き、警戒活動を行っている。

○福島県

- ・り災証明の発行支援で 10 名、避難所の支援に 6 名、計 16 名を派遣中である。

○郡山市社会福祉協議会

- ・11/20 現在の災害ボランティアセンター活動状況は、計 3,667 名である
- ・生活福祉資金（緊急小口資金）特例貸付の受付状況は、11/18 から受付開始し、11/20 現在で 13 件である。

【市長】

- ・り災証明書の交付が 50% を超えた。各種手続きの周知に努めること。
- ・被害の再発防止に向けた災害復旧をすべきということについて、国会でも質問があったとのこと、本市でも同じ考えである。
- ・避難所から通学している児童・生徒がいると聞く。自宅から通学している児童・生徒に遅れを取らせない対策をとること。SDGs の精神で、誰も取り残してはならない。

【市議会議員】

○川前光徳 議員

- ・逢瀬川第 4 町内会被災者の会に出席した。
- ・川の越水を防ぐことはできなかったのか。
- ・浸水被害について、責任の所在を質す意見があったのでお伝えしておく。

○箭内好彦 議員

- ・り災証明書が届き始めている。
- ・疑義があれば 2 次調査を依頼するよう、住民に勧めてきた。
- ・2 次調査を依頼したところ、市からの説明として「判定が下がる可能性があります。」と必ず言われるとのことであった。
- ・市民は、市から脅されていると感じている。
- ・説明の方法を考えないといけない。改善をすべき。

(税務部長)

- ・一次調査は外観調査、床上の浸水程度で判定している。

- ・二次調査は、一次調査の結果を取り消して判定し直し、全体の床面積に対して、どの程度の割合に被害が生じているか。結果として一次調査よりも、二次調査の判定が下がることもある。これは、窓口でも必ず説明し、理解を求めている。

(市長)

- ・詳しく説明すると今の回答のとおりだが、なお、御理解いただけるように説明したい。
- ・一次調査よりも、二次調査の判定が下がることもあるのは、重要なことで理解を求めなければならない。

【総務部長】

- ・来週月曜日の災害対策本部会議は見送り。次回は、木曜日の13時30分から開催。